

平成29年度 施策評価検証シート

評価年月日 平成29年 7月25日

				部会名	しごと部会
施策No.	1-5-2	施策名	特産品の開発	施策主管課	商工労政課
施策の目指す姿		地場産品を活用し、付加価値の高い多くの商品を開発しています			
<p>■ 施策評価シート(平成28年度実績評価)について</p> <p>① 施策を構成する事務事業の評価・検証について</p> <p>● 「4 施策を構成する事務事業一覧」の「施策への貢献度」の評価が的確に行われているか。 「直結度」の評価は適切に行われている。ただし、特産品開発・販路拡大事業について、この事業の成果に対する評価はCであるが、ヒアリング時に平成28年度の実績実例の紹介があり、それを考慮すると今後の高評価が期待できる。 なお、次のような意見が出た。業者への補助なのか、地域の発展にどのように繋がるのかが必ずしも明確になっていない。特産品開発の土台となる農畜産物素材がどのような状況なのかの検討が少ない。「はなまき産業大博覧会」をもっと有効に利用し、市民ニーズの発掘につなげてほしい。地域の隠れた特産品を再発見してほしい。</p> <p>● 「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。 市民ニーズや市の関与の必要性の変化、費用対効果や成果の向上余地等を把握し、的確に行われている。</p>					
<p>② 施策の成果指標及び達成状況の分析について</p> <p>● 「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。 的確に行われている。ただし、D評価になっているが、内部評価の基準が厳しすぎるのではないか。</p>					
<p>③ 施策の総合的な評価について</p> <p>● 「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。 農工商観連携事業であるが、観との連携という課題についても明示するべきである。この事務事業の制度そのもののPRがもっと必要ではないか。特産品開発の土台となる農畜産物をつくる農家等の課題との関連についても明示すべきではないか。</p>					
<p>④ シート記載内容について</p> <p>特筆事項なし。</p>					